

蕨市立歴史民俗資料館分館

蕨市立歴史民俗資料館分館は、明治時代に織物の買継商をしていた家を、そのまま利用したものです。

敷地は 516 坪 (1,705㎡)、建物は床面積 95 坪 (313㎡) の木造平屋寄棟造りで、中山道に面した店舗部分は明治 20 年 (1887) に造られました。



店舗部分には、昔の電話ボックスが備え付けられています。



帳場机



来館記念スタンプをどうぞ

1

蕨市立歴史民俗資料館

■住所 蕨市中央5-17-22

■開館時間 午前9時～午後4時半

2

蕨市立歴史民俗資料館分館

■住所 蕨市中央5-19-3

■開館時間 午前10時～午後4時



■休館日 月曜日・祝日・年末年始

■入館料 無料

■電話 048-432-2477 (歴史民俗資料館)

■Mail rekimin@city.warabi.saitama.jp



※ 2 館とも専用の駐車場はございませんので、お車の方は蕨市役所駐車場をご利用ください。

蕨市立歴史民俗資料館



蕨宿の世界

蕨宿は、江戸日本橋から2つ目の宿場町で、本陣が2軒、脇本陣1軒が設置されました。町並の長さは約1,090m、天保14年（1843）の人口は2,223人、旅籠が23軒あり、宿場の周囲には用水路が巡らされています。



織物のまち・蕨

江戸時代末期から塚越村では綿織物業が盛んになり、「二タ子織（後の双子織）」に代表される縞柄の織物は、品質の良さから江戸（東京）で評判となりました。このコーナーでは、蕨の綿織物業の祖である高橋新五郎に関する資料や、織機・道具類などを紹介しています。



蕨宿本陣上段の間
大名や貴人が宿泊する部屋です。
蕨宿本陣加兵衛家に残る絵図面を参考に、上段の間を復元しました。



商店店先



蕨宿に関する古文書や実物資料を紹介しています。
蕨宿の歴史を知るうえで大変貴重なものです。



旅籠



蕨の学校教育

江戸時代の寺子屋に関する資料や、蕨の近代学校教育のあゆみを紹介しています。



蕨の戦中・戦後の暮らし

蕨町（当時）は、昭和20年（1945）に3回の空襲を受け、埼玉県下では熊谷市に次いで2番目に大きな被害となりました。



河鍋曉斎記念美術館紹介コーナー

河鍋曉斎は、幕末から明治期前半にかけて活躍した狩野派の絵師です。南町4丁目にある河鍋曉斎記念美術館では、河鍋家に伝わる下絵や画稿類など、貴重な資料を保存・展示しています。

